

公益社団法人 東京都臨床検査技師会令和4年度第9回理事会議事録

日時：令和5年1月18日（水）19時00分～20時50分

場所：都臨技事務所 オンラインWeb会議システム（Zoomミーティング）

議長：原田

議事録作成：末永

出席：

（東京都臨床検査技師会事務所にて参加）4名

浄土、府川、神田、高橋監事

以下の出席者は、Web会議システム「Zoomミーティング」により参加した。

（自宅より参加）13名

原田、杉岡、中村、米山、竹澤、三橋、山方、飛知和、星野、相馬、近藤、岩瀬、末永

（職場から参加）9名

平木：勤務先 東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学病院 中央検査部
米谷：勤務先 東京都三鷹市下連雀5-4-1 杏林大学保健学部臨床検査学科
加藤：勤務先 東京都多摩市永山1-7-1 日本医科大学多摩永山病院 中央検査室
浅野：勤務先 東京都足立区江北4-33-1 東京女子医科大学附属足立医療センター 検査科
堀口：勤務先 東京都港区西新橋3-19-18 東京慈恵会医科大学附属病院 輸血細胞治療部
畑田：勤務先 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院 診療技術部 臨床検査室
市川：勤務先 東京都西新宿6-7-1 東京医科大学病院 輸血部
山崎：勤務先 東京都江戸川区船堀4-1-1 タワーホール船堀6階 江戸川区医師会医療検査センター 総務課

遠藤監事：勤務先 東京都千代田区神田神保町1-48 税理士法人 MY ユニット

計26名

欠席：佐野監事、役員選出委員

議事の経過の要領およびその結果

定刻

東京都臨床検査技師会会長 原田典明は議長席につき、Web会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認の後、理事会の開会を宣し、以下の議事に入った。

1. 議事録

- ・令和4年度第8回理事会議事録が承認された。
- ・2022年度第10回執行理事会議事録が承認された。

2. 報告事項

1) 学術部

(1) 学術部会

- ・12月19日に第8回学術部会を開催した。
- ・生理検査研究班の福見賞候補者推薦があったが、次年度推薦とする。
- ・初級研修会の動画は順次集まっており、HPへアップロードを進めている。
- ・研修会参加者数の減少については、改善案を盛り込んだ次年度の事業計画を提出している。
- ・来年度の初級研修会について、テキストの変更は1月中に行うこととした。初級研修会の講師料は60分10,000円であり、60分を超えても10,000円であることを確認した。
- ・免疫血清検査研究班の田中班長から2022年度の初級研修会を70分で設定したため講師料20,000円で処理をしたと報告があった。今回は講師依頼状に講師料20,000円の記載と原田会長の印があるため返金は困難と判断した。
- ・公衆衛生検査研究班の星本班長から2月8日に行う講習会について、日本認知症予防学会東京都支部事務局からの相談について報告があった。内容は「今回の研修会に関して日本認知症予防学会東京都支部事務局においてZoomで視聴したい」「日本認知症予防学会東京都支部会報に本研修会に関する記事を掲載したい」の2点であった。杉岡副会長から要旨や研修内容を掲載するのは問題ないが、ZoomのURLを掲載するのは非会員のため都臨技会員の不利益になるのではと意見があった。原田会長から日本認知症予防学会東京都支部事務局でZoomを見る分には構わないが、そこから配信されることのないように注意してほしいと意見があった。星本班長を通じて先方に掲載時期、掲載内容を確認する。また、ZoomのURLの取り扱いに注意するように伝える。
- ・ガイドライン一覧を学術研究班で追記した。かなりの量であるため掲載方法について、一覧を確認の上ご意見いただきたい。
- ・輸血検査研究班から小島幹事が1月末で辞退希望とのことで、新幹事（任期2023年2月～2024年3月）の審議依頼がなされた。
- ・初級研修会テキスト作成にあたり講師依頼状を出してほしいという研究班があった。学術部から依頼状を出すこととする。支部運営時代は講師依頼状を本院宛と上長宛で2通出していた。費用については講師料のみ支払い、スライド作成者に行動費の支払いはなかった。学術部もそれに倣う事とする。

(2) 編集委員会

- ・2月号会誌発行に向けて、第18回学会の会告、シリーズ、4本の原稿の校正を行なっている。
- ・要旨の内容は1つ(発表者1名)だが、資料作成に協力していただいたとのことで講師名が連名で提出された。この場合は講師名1名とし、作成協力者は謝辞として記載することとした。
- ・日本産業社の契約書の巻き直しや他社との相見積もり取得については2年に1度行うこととした。
- ・大竹編集長に進行をお任せしていたが、3月より平木理事が進行する。
- ・次年度のシリーズ案を検討し、「タスクシフト 臨地実習・教育現場の実際」の内容で進める予定である。平木理事から昭和医療技術専門学校の山藤先生に依頼する。
- ・初級研修会のテキストについてはスライドサイズA4横で作成し、提出はPDFファイルとする。
- ・山方理事より、日本産業社との契約について補足があった。この時期で他社選定は難しく、今までも2年契約であったため2022年、2023年の契約書作成を依頼している。2024年以降の業者選定にあたり、契約開始時期を4月から開始すると6月発行の準備期間が短く困難である。年3回発行とすると7月、11月、3月の発行が年度も跨がず予算の影響が少ないと思う。4月1日契約開始で7月、11月、3月の年3回発行が可能であることも条件に入れて、業者選定を検討したい。
- ・原田会長よりシリーズについてまだタスクシフトに関して決めかねている教育機関もあるのではないかと意見があった。米谷理事から明日学内でキックオフミーティングがあり、これから検討を進める段階であると報告があった。平木理事からは3年制の学校は準備期間が迫っていると情報があることなどから、今後山藤先生や理事会で相談しながら進める事とする。

(3) 精度管理調査委員会

- ・12月26日に第6回精度管理調査委員会を開催した。
 - ・2022年度の報告会を3月までに実施し、参加登録を3月中に済ませたいと考えている。
- 現在評価の検討及びスライド作成中であり、公開が2月中旬から1ヶ月間を予定している。その場合、前回まで行なっていたGoogle Formsによる設問形式を利用すると3月中に参加登録を行うことは困難である。代案としてスライドの合間にパスワードを入れ、最終的にご自身で日臨技の参加登録をしてもらうということが挙げられている。
- 参加登録を忘れる、パスワードを誤って登録をするなどの課題はある。事前の通知やトラブルが起きないかを検証して行うのであれば良いのではないかと。行事登録のパスワードの有効期限が1ヶ月であるので、スライド公開を1ヶ月にすると最終日が有効期限になりかねないので、その点も確認の上実施する。

(4) 生涯教育制度実行委員会

- ・2022年12月分の報告がなされた。学術研究班研修会4回開催延べ289名、自己申告会場研修延べ13名の登録があった。

2) 学会運営部

(1) 第18回東京都医学検査学会

- ・12月27日に第18回学会メンバーとアトラス社メンバーで打ち合わせを行なった。10%引きの金額で3年間契約をした。機能は昨年と同様の内容を継承しながら新機能(ランチョンセミナー、機器セミナーの参加証発行)も確認する。スケジュールは昨年と同様で進める。1月24日に会場であるUDXと打ち合わせを行う。
- ・竹澤理事より第18回学会メーリングリストに追加する人を竹澤理事へ伝える。(担当:浅野理事)

(2) 学会長推薦委員会

- ・報告事項なし。

3) 支部運営

(1) タスク・シフト/シェア講習会

- ・2月12日と2月19日に講習会開催が決定した。2月12日開催分はすでにLINEとHP上に案内し、1月18日0時に事前受付開始し既に定員に達した。2月19日分は実務責任者が決定していないため行事登録をしていないが、来週早々には行う予定。当日の実務委員は両日とも全員決まっていない。
- ・教育施設でタスク・シフト/シェアの授業をするにあたり、教員が実務委員を経験するように日本臨床検査学教育協議会の理事長から発信された。取り急ぎ杏林大学の水谷先生が12日、19日共に実務委員として参加する。他校でも実務委員を希望する教員に関して水谷先生が今週末を目処に取りまとめていただける。今後の講習会は教員に実務委員を担当いただく形式で進める予定。
- ・都臨技事務所に講習会開催予定や修了証が届かないなどの質問が来ている。その中で、内視鏡検査技師の方から今まで行なった研修会開催回数と参加人数に関する問い合わせについては三橋理事から6回までの参加人数を伝え、今後は日臨技に問い合わせよう案内することとした。

(2) 選挙管理委員会

- ・報告事項なし。

4) 地域保健共催事業部

(1) 地域保健共催部会

- ・11月に開催した検査と健康展の会場費を二重に支払った事例があった。過剰に支払った分は振り込み手数料を差し引いた分を1月20日に払い戻される。
- ・日臨技より13歳のハローワークの社会人交流会の講師依頼があり、STI予防委員会の猪股委員長にお願いした。2月14日に行われる予定。
- ・2023年度の看護フェスタについて、今週の月曜日に原田会長宛てに公文書及び参加申込書が届いた。開催日時は5月13日(土)12時~16時、会場は東京都看護協会会館。内容は物忘れ相談プログラムを使用したセルフチェック測定を予定している。申し込み期限は1月31日である。
- ・学生向けの入会案内チラシを2月中旬に発送する予定で、現在の内容を見直し修正を行なっている。完成次第、各施設に配布する予定である。

(2) STI予防委員会

- ・3月4日に青砥中学でSTI予防教室を開催予定。
- ・2月9日にSTI予防委員会を開催予定。

(3) フォーラム委員会

・2月の動画公開に向けて準備を進めている。ロシュ社より動画が届き委員で確認中である。今後HPとLINEにお知らせを掲載する。会員の生涯教育点数付与についてはテストをGoogle Formsで作成しHPに掲載する。一般の方向けのチラシを作成し、幹事、理事の施設で掲示について協力を依頼する。

(4) 教育施設連絡者会議

・教育施設連絡者会議を1月13日に開催した。
・第17回東京都医学検査学会で開催された学生対象講演会の報告
・タスク・シフト/シェア講習会に関して2024年度の国家試験受験者に関しては講習を学内で行わなければならない。方法は都臨技で行なっている内容と全く同じ内容で行う必要があり、実務担当者などを学内で決めなければならない段階となった。責任者はタスク・シフト/シェア講習会の実務委員を経験することが望ましいという旨が教育協議会から出た。杏林大学の水谷先生が取りまとめとなって三橋理事に依頼する。今後教育施設関係者の申し込みが増えるかもしれない。
・国家試験の解答の取りまとめを松村先生が実施されていた。松村先生に確認し前回は踏襲して行う予定である。

5) 会計部

(1) 会計部報告

・2022年12月の収支会計報告がなされた。
・検査と健康展の二重支払いは請求書が事務所に届き連絡がなかったため本会計で支払い手続きを行なったためと報告があった。
・5月に事務員の時給アップを行なったが、松永先生の時給アップを失念していた。松永先生の時給改定について審議依頼がなされた。
・松永先生が銀行に多額の金額を下ろしに行く際、社員証の提示を求められることがあるため、社員証の作成を事務局に依頼した。
・令和5年度の予算計画案が提示された。追加、修正がある場合は早急に浄土会計部長へ報告するよう依頼された。

6) 庶務部

(1) 庶務部報告

・会員数報告がなされた。正会員数7279名、賛助会員66社、学生会員49名、名誉会員13名。
・新入会員の審議依頼がなされた。
・アフラック生命保険株式会社の個人情報流出に関して報告があった。当会の対応としては流出があったことの把握にとどめ、事務所に問い合わせがあった場合はコールセンターを案内することとした。
・令和5年度の事業計画概要書(案)を共有ドライブに作成した。修正及び確認の上、黒字に変更するよう依頼があった。その際には共有ドライブ上で作業を行うよう注意があった。中村副会長から文言の統一も開始した方が良いと意見があった。

7) 事務局

(1) 事務局報告

・2022年12月の事務局報告がなされた。
・社員証のサンプル提示があった。同様に理事の名札を作成することが可能である。理事は今月中に写真を竹澤事務局長へ提出する。
・日臨技より「都道府県災害マニュアル説明研修会」の推薦依頼があり、災害担当の米山副会長と神田理事に参加いただく。
・日臨技より「令和5年度都道府県技師会との関連事業について」の通知があった。
・東海大学医学部付属病院の西崎先生から「イラスト図解 検査の仕組み・検査値の読み方」を送付いただいた。事務所に保管している。
・令和5年度衛生検査所精度管理専門委員の推薦依頼があり、山方理事より現委員3名に継続いただけるか確認いただいている。濱田先生と早川氏は継続可能な回答あり、柳田氏は家庭の事情で仕事を休んでおり回答がきていない。1月26日締め切りのため週明けに再度連絡を試みる。
・シスメックス学術セミナー周知協力依頼があった。昨年も承認しているため今年もHPとLINE上で案内を行う。
(2) 表彰選考委員会
・2023年1月24日に第4回広報委員会開催予定である。
・功労者の記念品フォトフレームが届いた。表彰式に欠席した2名に今月中に送付する予定。
・永年会員の調査ハガキについて1月13日に締め切った。1月16日現在218名中117名の返信があった。今年度中に賞状と記念品のタンブラーを発送予定である。
(3) 広報委員会
・2022年12月分の報告書確認がなされた。

8) 副会長報告

(1) 杉岡副会長

・1月20日、21日に日臨技理事会が開催される。

(2) 中村副会長

・報告事項なし。

(3) 米山副会長

・昨年逝去された佐藤乙一先生を偲ぶ会について日臨技から企画提案及び協力依頼があった。日時は3月25日14時～14時45分、会場はステーションコンファレンス川崎の予定。式次第及び協力内容はドライブに共有されている。式典に要する費用を日臨技、都臨技で按分する検討を行なっている。日程は決定しているので理事各位は予定をお願いする。

9) 会長報告

・5月に開催される日本医学検査学会の事前登録及び宿泊予約が開始しているので情報共有する。

- ・臨地実習指導者講習会の1施設1名の受講制限が解除された。HPには1月19日に掲載予定である。異動、転勤、退職など考慮し、複数名の受講を推奨する。
- ・令和5年度の事業計画書及び予算計画を2月の理事会で承認できるよう提出依頼がなされた。

10) その他
・特になし

3. 審議事項

- 1) 輸血研究班幹事の推薦について審議の結果、承認された。
- 2) 新入会会員18名（新入会18名、再入会2名）について審議の結果、承認された。
- 3) 松永先生の時給を増額し1,000円から1,150円とすることが審議の結果、承認された。

以上をもって本理事会の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し20時50分に解散した。本日のWeb会議システムを併用した理事会は、終始異常なく審議を終了した。上記の議題及び決議内容を明確にするため、この議事録を作成し議長と監事は次に署名捺印する

2023年1月18日（水）
公益社団法人 東京都臨床検査技師会
議事録作成 末永晴香

議長
(原田)

原田典明



監事
(高橋)

高橋秀治



監事
(遠藤)

遠藤盛人

